

教 科	理 科	科 目	生物基礎
履修学年	第1学年	履修規定・週時間	2単位
教科書	新生物基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート生物基礎 (第一学習社)

1. 教科・科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2. 学習内容

生物と遺伝子，生物の体内環境の維持，生物の多様性と生態系の大きな三項目から構成されている。各項目の詳細は学習計画表を参照。

3. 学習方法

①授業

基本的にプリントとネオパルノートを使っての進め方である。プリントは授業のたびにしっかり書き、常に整理しておくこと。定期考査前のプリント提出直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。

プリントには板書事項を書くだけでなく、自分で考えたり感じたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切である。授業後に調べたり、質問するなどしてより確かな知識となる。

実験については主に理科室で行う。実験をするときには事前に連絡をするので、必ず休み時間のうちに教室から移動をしておくこと。

実験の授業を欠席した場合は、後日（指定した日）放課後に補習を行うこともある。実験レポート、宿題・課題などの提出物は必ず指定された期日を守って提出すること。

②学習の進め方

日々の授業の内容が基本である。授業の内容を理解し、わからないことがあれば担当の先生に聞きに行くよう心がけること。例題など自分で解いてみて、確認すること。

家庭でもネオパルノートの該当箇所の問題を自分で解けるように学習を進めよう。もし、わからないところがあれば、友達に聞いたり、先生に質問しよう。最低限、定期考査前は必ず学習した内容をしっかり復習しておくこと。

4. 評価の視点

○関心・意欲・態度：内容や現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究したか。自然を総合的にとらえる科学的態度を身につけたか。

○思考・判断：自ら問題を見だし、実証的、論理的に考察したりして問題を解決したか。事実に基づいて科学的に判断したか。

○技能・表現：観察や実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけたか。観察や実験の過程、結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現したか。

○知識・理解：基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけたか。

※評価の方法

- ・授業への出席《重視》
- ・学習活動への参加の仕方や態度《重視》
- ・授業プリント実験レポートネオパルノートなどの提出物《重視》
- ・定期考査

